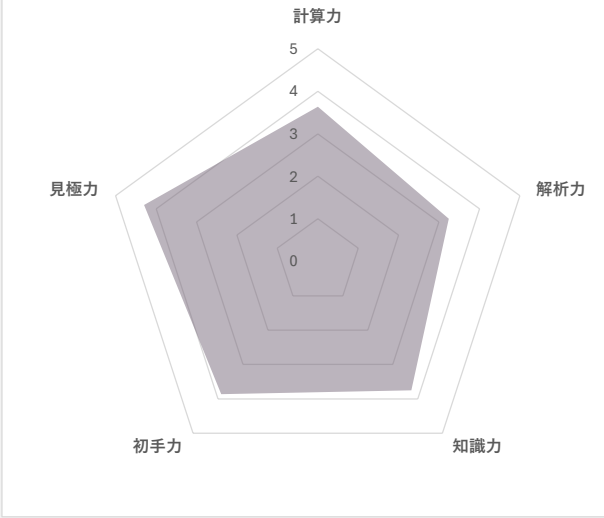


総合分析

試験区分 一般

制限時間 60分 大問数 全4問

合格に要する能力（5段階）



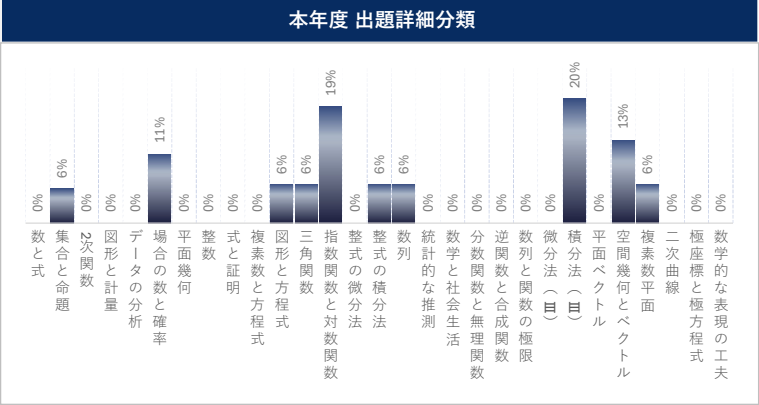
合格に要する能力（5段階）		
計算力	3.4	高度な計算をやり遂げる力
解析力	3.0	問題文を正しく読み取る力
知識力	3.6	解くことに必要な知識の量
初手力	3.7	初手の難しさ
見極力	4.1	解きやすい問題を選択する力

特記事項 特になし

出題分野	
数学 I	6%
数学 A	11%
数学 II	38%
数学 B	6%
数学 III	20%
数学 C	20%

本年度 解答形式  
マーク 100%

本年度出題テーマ一覧	
第1問	小問集合
第2問	部分集合の数え方
第3問	桁数問題
第4問	回転体の体積



特殊問題の有無	記述なし	証明なし
統計なし	数IIIあり	長文なし

総合評価			
難度	3.6	最難を5とする問題自体の難度	やや難しい
分量	70分	完答に要する時間（制限時間は60分）	やや多い
一次合格に必要な正答率（予想）			67%
高い正答率を要する			

**入試の特徴と対策**  
▶ 少ない単元の知識で解けるものが多い。単元ごとに公式を確認しておこう。

**入試から見る大学が求める学生像**  
典型問題と非典型問題が混在しており、どの問題に時間を割くかで得点に大きな差が生まれたと考えられる。非典型問題においては初手力・選択力が必要なので、他大学よりもこの2つの力を持つ学生を求めていると考えられる。